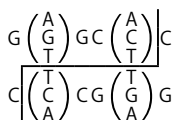


Bsp1286I (Sdu I)



Code No. 1024A 容量： 500 U
濃度： 10 U/ μ l

添付試薬：

10 × L Buffer 1 ml
10 × Loading Buffer 1 ml

●形状 10 mM Tris-HCl, pH7.5
100 mM KCl
0.1 mM EDTA
1 mM DTT
0.15% Triton X-100
0.01% ウシ血清アルブミン
50% グリセロール

●保存 - 20°C

●起源 *Bacillus sphaericus*

●一般的な反応液

Bsp1286I 1 μ l
10 × L Buffer 2 μ l
基質 DNA \leq 1 μ g
滅菌精製水 up to 20 μ l

●反応温度 30°C

●活性の定義

反応液 50 μ l 中、30°C で 1 時間に 1 μ g の λ DNA を完全に分解する酵素活性を 1 U とする。

●品質管理

性能試験結果については、各ロットの Certificate of Analysis (CoA) をご覧ください。CoA はタカラバイオウェブサイトからダウンロードできます。

●Universal Buffer の相対活性

	L	M	H	K	T (+ BSA)
相対活性 (%)	100	20	<20	<20	60

●Basal Buffer での塩濃度の影響

塩濃度 (mM)	0	10	20	40	80	100
相対活性 NaCl (%)	100	70	70	40	10	<10
相対活性 KCl (%)	100	100	100	50	10	<10

Basal Buffer 組成

10 mM Tris-HCl, pH7.5
7 mM MgCl₂
7 mM 2-メルカプトエタノール

●各種 DNA の切断数

	SV	ϕ X	pBR	pUC	pUC	M13	Col
λ	Ad2	40	174	322	19	119	mp18 E1
38	105	4	3	10	5	6	5 3

●メチル化の影響

CG methylase の影響を受けない。

●使用上の注意

本酵素は希釈に不安定なため、原液で使用すること。

●Universal Buffer 組成 (-20°C 保存)

1. 10 × L	100 mM Tris-HCl, pH7.5	4. 10 × K	200 mM Tris-HCl, pH8.5
	100 mM MgCl ₂		100 mM MgCl ₂
	10 mM Dithiothreitol		10 mM Dithiothreitol
2. 10 × M	100 mM Tris-HCl, pH7.5		1,000 mM KCl
	100 mM MgCl ₂	5. 10 × T	330 mM Tris-Ac, pH7.9
	10 mM Dithiothreitol	(BSA-free)	100 mM Mg-Ac
	500 mM NaCl		5 mM Dithiothreitol
3. 10 × H	500 mM Tris-HCl, pH7.5		660 mM K-Ac
	100 mM MgCl ₂		6. 0.1% BSA
	10 mM Dithiothreitol		7. 0.1% Triton X-100
	1,000 mM NaCl		

●10 × Loading Buffer 組成 (開封後、室温保存)

0.9% SDS
50% Glycerol
0.05% Bromophenol Blue

反応液量の 1/10 量以上の 10 × Loading Buffer を添加し、酵素反応を止め、アガロースゲルにアプライしてください。また、保存中に SDS が析出することがありますが、温浴で溶解してお使いください。

●注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。
タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。
ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。
本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。